

式 辞

令和七年の新春を迎え、新しい時代を担う皆さんが、本日ここに成人の日という輝かしい門出を迎えられたことを、市民を代表いたしまして心からお祝いを申し上げます。

また、この佳き日を迎えるにあたり、皆さんをここまで大切に育ててこられたご家族の皆様、長年にわたり成長を見守ってくださった地域の皆様、そしてご指導、ご支援いただきました教育関係者の皆様に深く敬意を表します。

本日ここにお集まりの皆さんの顔からは、二十歳の節目の年を迎え、未来への夢と希望を胸に、晴れやかな気持ちでこの式典に臨まれている様子が見受けられます。

さて、皆さんの中には、既に自立して働いている方もいれば、勉学に励まれている方もいらっしゃると思います。その中で共通しているのは、皆さんの故郷は朝霞ということです。ここ朝霞市は皆さんがこれまでの人生で得られたかけがえのない仲間や大切な思い出が沢山ある場所であり、たとえこのまちを離れることになったとしても決して忘れることのない故郷です。

私を含め皆さんの故郷であるこの朝霞は、自然と利便性がバランスよく調和した街「むさしのフロントあさか」をキャッチフレーズに掲げてまちの魅力を内外に発信しています。ぜひ、希望を持ち若さ溢れる皆さんも一緒に、ここ朝霞市を住んでみたくなるまち、住んで良かったと思えるまちにしていきたいと思います。

今、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しており、世界情勢の不透明さなどに不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、どうぞ、若い力や発想、知恵や行動力を存分に発揮していただき、皆さんそれぞれが未来に向けてしっかりと一歩を踏み出してください。それでもなお、これからの長い人生、時に挫折することや逃げ出したくなることもあるでしょう。そうした時には、恥ずかしがらず、一度ゆっくりと故郷朝霞で羽を休めてください。きっとまた新しく飛び立つ力が湧いてくると思います。

結びにあたり、二十歳の皆さんの夢と希望に満ちた輝かしい前途を祝福し、また、今後のさらなるご活躍とご多幸を心から祈念申し上げまして、成人の日の式辞といたします。

令和七年一月十三日

朝霞市長 富岡 勝則